学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物演習 β	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程　ニューアチーブ生物 新刊　アクセスノート　生物基礎　新課程版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎回の授業をしっかりと聞き、演習問題や実験に意欲的に取り組んでください。また授業内容をしっかり復習し、次の授業に備えてください。繰り返し反復することで理解を深めることができるはずです。グループ学習やペアワークには積極的に参加すること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
今まで学んできた知識をもとに、生物学の基本的な概念や法則の理解を深め、科学的に探究するための知識や技能を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
観察や実験を行うことで、分析やデータ解析の力を深め科学的に探究する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に関わることで科学的に探究する力を育み、生命の尊重や自然環境保全に寄与する精神を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	今まで学んできた知識をもとに、生物学の基本的な概念や法則の理解を深め、科学的に探究するための知識や技能を深める。	観察や実験を行うことで、分析やデータ解析の力を深め科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に関わることで科学的に探究する力を育み、生命の尊重や自然環境保全に寄与する精神を育成する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	個体群 生物群集 生態系と生物多様性		a:生態と環境についての知識をまとめ、生物が持つ互いの関係や問題を理解する。 b:問題演習に取り組むとともに、個人やグループで考え、問題をまとめる力をつける。 c: 実験やグループワーク、授業に積極的に取り組むことができる。また自分の考えをまとめることができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト グループワーク 実験レポート	実験レポート 毎授業の取り組み グループワーク
2	生命の起源と生物の変遷 進化のしくみ 生物の系統		a:生物の起源と進化や、生物の系統についての知識をまとめ、生物との関連性を理解する。 b:実験や問題演習を通じて個人やグループで考え、問題をまとめる力をつける。 c: 実験やグループワーク、授業に積極的に取り組むことができる。また自分の考えをまとめることができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト グループワーク 実験レポート	実験レポート 毎授業の取り組み グループワーク
3	これまでの学習を踏まえたプレゼンテーション		a:これまでに得た知識を用いてプレゼンテーションを行うことができる。 b:主題に合ったプレゼンテーションを、平易に論理立てて説明できる。 c:意欲的にプレゼンテーションに取り組むことができる。	プレゼンテーション	プレゼンテーション	プレゼンテーション 毎授業の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度